

# 矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員

NEWS



Photo: 神木山等覚院にて撮影  
Vol 18  
2019March  
~  
2020May  
討議資料

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。  
新型コロナウイルス感染拡大を受け、オリンピック・パラリンピックの延期が決定され、我が国においても首相が緊急事態を宣言。すべての国民の生活に多大な影響を及ぼし続けています。令和2年市議会第1回定例会は会期を短縮し、3月19日に閉会となりました。今回は定例会の内容に加え、今年度、本市でも取り組みが加速するGIGAスクール構想について報告致します。

## 第1回定例会予算審査 特別委員会での質問 2項目

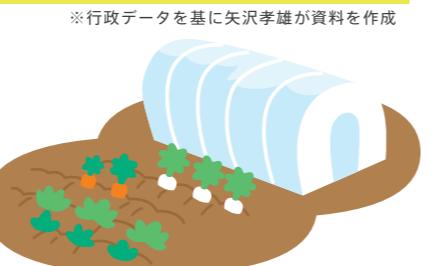
### I 都市農業施策～進む特定生産緑地指定の一方で

生産緑地指定から30年を迎え、一気に宅地化が進むのではないかと問題視されている2022年問題。本市では全国的にも先駆け、生産緑地2022年問題対策協議会を設立。特定生産緑地への取り組みが推進されています。本市の農地の状況を俯瞰し、都市農業振興基本法の理念に則り、「農地は都市にあるべきもの」という観点から、従来の枠に捉われない庁内横断的な都市農業施策を求めていました。

Q 次年度予算案では特定生産緑地への移行を推進する事業費として、約3,676万円が計上されている。対象となる農家1,006世帯中、今回申し出があった世帯は403世帯となっているが、今までの申出件数と仮に指定となった場合の生産緑地面積を伺う。今後は、申し出のない農家に対する取組がより一層必要である。特定生産緑地制度の周知を行いながら、移行にあたって課題や不安などをヒアリングし、個別に申出に向けたアプローチを実施すべきと考えるが、見解と取り組みを伺う。

A 特定生産緑地の申出があった農家403世帯の面積は約110ヘクタールとなっている。税優遇などの生産緑地のメリットを10年間延長できる反面、建築行為が制限される面もある。制度を適切に理解していただいたらうえで、各所有者が御家族とともに検討を重ね、慎重に判断していただくことが大切であると考えている。

今後は各所有者の検討を促すため、今回申し出のなかった世帯に対して、個別に「新たな都市農地制度と農地活用の手引き」や制度説明会の通知を郵送するとともに、隨時相談を行っていきたい。さらに、今年度の指定申し出において、窓口や説



### 2 待ったなしの空き家対策～川崎市の現状と課題～

当方ホームページで質疑の内容等を掲載していますのでご確認いただければ幸いです。

QRコード読み取りで 詳細内容が確認できます ▶

## 特集

# GIGA(ギガ)スクール構想!!

～児童生徒1人1台PC端末整備に向けて～



この度の市議会期間中において、GIGAスクール構想関連予算として、令和元年度補正予算額約46.9億円（うち、国庫20.7億円）がこの度の議会で議決されました。今回は、これから時代を生きる子どもたちにとって、重要な教育におけるICT環境の整備についてお伝え致します。

### GIGAスクール構想とは・・・

#### Global and Innovation Gateway for All

小中学校などのすべての生徒にPC端末等を配備し、Society5.0時代を生きる子どもたちの教育をより一層充実する目的で、文部科学省主体で進められている国家施策です。昨年の9月に公表され、その事業概要は大きく2つに分かれています。

#### 校内通信ネットワークの整備

希望する全ての小・中・特支・高等学校等における校内LANを整備

#### 児童生徒1人1台端末の整備

国公私立の小・中・特支等の児童生徒が使用するPC端末を整備

#### 国が目標としている水準と本市の整備状況

文部科学省5か年計画等	本市の整備状況
学習者用PC	3クラスに1クラス→1人1台へ
指導者用PC	授業を担任する教員1人1台
大型提示装置	各普通教室1台 特別教室用6台
実物投影装置	各普通教室1台 特別教室用6台
超高速インターネット	上り1Gbps 下り1Gbps
校内有線LAN配線	10Gbps
無線LAN装置	普通教室+特別教室
ICT支援員	4校に1人配置
予備用PC	複数必要

#### 今後の課題について

新型コロナウイルス感染症への対応としても、ICTを活用した遠隔授業等は効果的であり、早急な整備が求められています。4月に国は、今後の予定で示されている整備スケジュールをさらに前倒しする事を発表しました。川崎市においてもしっかりと対応していかなくてはなりません。

一方で、整備する端末をどう選定すべきかについては、国の標準仕様内で各自治体に委ねられています。どのような授業や活用を展開するのかが重要です。

また、財政面での懸念も拭えません。原則、国庫補助は初回整備完了までとされており、その後の更新や保守など継続した財源についても国に求めいかなければなりません。



# 第1回川崎市議会 定例会のご報告

## 川崎市議会定例会 3月議会 予算案

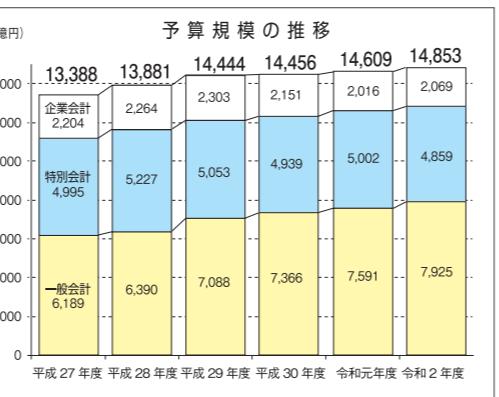
団長の橋本勝が代表質問を3月2日、来年度予算案はじめ議案等、諸案件について行いました。

令和2年度予算案 市税収入0.1%減の一般会計7,925億円

主な特徴は以下のとおりです。

- ・全会計1兆4,852億8,287万円(特別会計4859億円、企業会計2069億円)
- ・一般会計7,925億円(前年度比+334億円)、6年連続して過去最大規模に
- ・市税収入3,634億円(0・1%減8年ぶりマイナス)、納税者数の増加に伴う個人市民税30億円の増、家屋の新增築による固定資産税21億円の増の一方で、税率引き下げ及び企業収入の減少による法人市民税が62億円の減による。
- ・投資的経費1,078億円(前年度比+17・3%)
- ・義務的経費(人件費、扶助費、公債費)4,347億円と過去最高
- ・扶助費2,091億円(前年度比+6・7%)
- ・行革で約43億円の財政効果見込み
- ・ふるさと納税による減収額見込63億円

その他、市役所本庁舎等建て替え事業や京急大師線連続立体交差事業、等々力緑地の再編整備などをはじめとした、積み重ねてきた歳出の拡大や昨年の東日本台風の災害復旧費などが重なり、投資的経費17.3%増加し、財源対策として市債を対前年度比19.6%増、金額で107億円増の654億円を新たに発行しただけでなく、市債償還に備える減債基金から当初予定額の90億円を大幅に上回る120億円をさらに取り崩して埋め合わせを行いました。借入れ総額667億円にものぼり、財政の硬直化とともに極めて厳しい財政だといえます。



## 鷺沼駅周辺再編 整備事業について



この度上程された令和2年度予算では、鷺沼駅周辺再開発事業として準備組合が行う環境影響評価方法書作成費用等に対し、補助金約1億4600万円が計上されました。そこで、わが会派から再開発事業の総事業費及び、想定される補助金総額について質問。市から再開発事業の総事業費は400億~500億円、国と地方自治体からの補助金を80億~100億円と見込んでいると答弁。加えて、これまで県と市で同額を負担してきた補助金について、県は一切負担をしない方針であることも明らかになりました。理解できるものではなく、再開発による県税増収効果を訴えながら県にはこれまで同様の負担を求めて参ります。

## 矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる(34歳)
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- ・法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
- ・平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員(宮前区)初当選・平成31年二期目当選
- 趣味:剣道四段(五段に向け修行中)、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段
- 家庭:妻・息子

## 新型コロナウイルス感染症対策

新医療機関や高齢者施設、保育園、幼稚園等にマスク等を提供する等の緊急要望を市長に対して行い、対策本部会議で議論されました。

代表質問において、川崎病院に患者を受け入れているが指定感染症病床12床は不十分との問題提起を行いました。また、「新型コロナウイルス感染症」が国にセーフティネット保証4号に指定されたため、本市も中小企業支援策として融資制度の拡充を図ることです。各区の「帰国者・接触者相談センター」で相談受付も行っています。必要な方には外来も案内しています。2月20日からコールセンターも設置しています。国や県と連携して取組みを行なっていきます。

- 成果
- ①市内関係団体(医師会3万枚、歯科医師会2万枚、病院協会15万枚)を通じて不足している医療機関に対して配布
  - ②保育所、幼稚園等児童施設へ14万1000枚配布



3月9日、市長に対し、正副団長で要望しました。

令和2年3月9日

川崎市長 福田 紀彦 様

自由民主党川崎市議会議員團  
新型コロナウイルス対策のため備蓄用衛生用品の提供を求める緊急要望書

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、2月6日、自由民主党川崎市議会議員団は、市に対して危機管理の強化に関する緊急要望を行ったところです。この間、市では、全庁を挙げ、感染防止に向けて種々の対策に尽力されていますが、感染者が世界各国に広がり、国内においても増加し続けていることから、感染症に対する市民の不安が高まるとともに、市内においてもマスクや消毒液等の衛生用品の不足が深刻化し、感染対策が特に求められる施設にも行き渡っていない状況が見受けられます。よって、市におかれでは、先の緊急要望のとおり、民間医療機関、幼稚園や保育所等に対して、本市で備蓄しているマスクや消毒液等の衛生用品を緊急的に提供されるよう要望いたします。については、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において早急に協議されるよう求めます。

新型コロナ対策については、日々目まぐるしく情報が更新されています。最新情報については、当方のツイッターやブログを活用し発信を続けています。

twitterQR▶



## 「全国都市緑化フェア」の 令和6年本市開催にむけて

我が会派がこれまで継続して求めてきた、令和6年の市制100周年での「全国都市緑化フェア開催」に向け、大きな一步を踏み出しました。

代表質問答弁において、市長は「本市での開催意義などを踏まえ、国土交通大臣の開催同意を得られるよう、基本構想の策定を進める」と答弁。市内企業や関係団体など多様な主体との緑の都市づくりを目指して参ります。

※全国都市緑化フェアは、昭和58年(1983年)から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典で、皇室をお迎えする大規模な行事となります。



## 消防団員の年額報酬引き上げへ

昨年も台風19号や市内の火災、災害等で活躍した消防団ですが、これまで仕事を掛け持ちしながらも訓練や昼夜関係なく出動命令が出れば、現場に駆けつけ、市民の安全・安心に尽力されてきた消防団員ですが、これまで年額報酬は2万2,000円と政令指定都市の中で2番目に低い水準でした。これは幹部、団員関係なく一律です。消防局の話では「本市の消防団員は非常に使命感が強く報酬に関してもこれまで異論を唱える人が少なかった」とのことです。令和2年度予算では大幅増額の3万6,500円と言われていますが、全国的に比較して見ると平均的な額とのことです。現在、本市の消防団員の定員は1,345人で1月1日現在の充足率は83.7%と全国平均の90.4%を下回っており、団員の確保は喫緊の課題です。継続的な取り組みを通じて、更に環境を充実していく必要があります。



## しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください!

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

mail (新) mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索  
<https://www.yazawa-t.jp/>  
[twitter](#) [facebook](#) [Instagram](#)

